

チャレンジの場として活用してほしい

今回は、規格外の野菜の販売のほか、ぎょうざや焼きそば、焼き菓子など、自分が作ったものを販売してみたい、試してみたいという方の出店や、フリーマーケット、アウトドア体験など、飲食物に限らず多くの出店がありました。

すぐに売り切れてしまうほどの来場者でにぎわい、影野駅前の活性化に取り組む地域の方も、こんなに人が集まるのか、とそのにぎわいぶりを喜んでいました。



影野マルシェでつながる地域の輪

来場者からは、「コロナで地元の集まりが減っていたので、久しぶりに近所の方や同級生と交流できてとてもうれしかった」「アットホームですてきなマルシェだった。またやってほしい」との声が聞かれました。

影野マルシェは今後も継続して開催していく予定です。「地域のにぎわい作りをしながら、地域の方の新しいチャレンジの場や自己表現の場となっていくことで、地域活性化をはかっていきたい。」と井上さんは語ってくれました。



人気の野菜販売

農家さん自らが販売する規格外の野菜はとても人気。野菜を安く購入できるのがうれしい。



親子で楽しめるマルシェ

子どもたちのお絵かきコーナー。小さい子も退屈しない。



影野小学校の子どもたちも参加

影野小学校からは、苔玉やいちごの苗、しょうがプリンの販売が。課外活動としてもよい経験に。



出店者募集中



【お問い合わせ先】企画課

☎ 22-3124

チャレンジの場 自己表現の場 交流の場

影野マルシェ

昨年3月に初めて開催された「影野マルシェ」。仁井田・影野地域の住民による出店をメインとして、地域でとれた野菜や飲食物、日用品などが出店されました。そして今年3月、2回目となるマルシェが開催されました。



「もったいない」を、みんなの「欲しい！」に

主催者の井上さんは、四万十町の地域おこし協力隊として活動しています。ミッションは、仁井田・影野地区の地域づくり。活動していく中で、規格外の食材や、家庭菜園で食べられずに余ってしまう食材が多く捨てられていることを知り、活用したいという思いから、規格外の食材の販売や、それらを使用した飲食物の出店ができるイベントを行いたいと思い、マルシェを開催することになりました。

1回目のマルシェは、規格外のねぎやしらすを使った窯焼きピザや、規格外の果物を使用したお菓子などの出店がありました。地域の方だけでなく地域外の方にも好評で、また開催してほしいとの声もあり、2回目を開催することになりました。

